

映画「戦雲」の鑑賞と

三上智恵監督のお話を聞く会

入場無料
事前予約制

2025年8月2日(土)

13:00～ 映画「戦雲」上映(132分)

15:30～ お話 三上智恵さん

会場 神奈川県弁護士会館5階(定員120名)

開場 12:30



※事前予約制

上記二次元バーコードからお申込み下さい。二次元バーコードを使えない方はお電話下さい。



三上智恵さん
(ジャーナリスト・映画監督)
プロフィール裏面

《申込期限》
8月1日(金) 13時

2015年9月、安保法制が制定され、2022年12月にはいわゆる「安保三文書」が閣議決定されました。

これにより、軍事費が増大し、ミサイル・戦闘機等兵器の取得、空母化した護衛艦の配備、大型弾薬庫の設置、そして日米の軍事一体化、つまり、日本が武力を行使するための準備が進められています。

南西諸島では、2016年以降、次々と新たに駐屯地・施設が建設され、ミサイル部隊等が配備され、軍備拡大が顕著です。

軍事で市民の生活を守り、平和を実現することができるのでしょうか。「政府の行為によって再び戦争の惨禍が起こることのないようにすることを決意」(日本国憲法・前文)した、その誓いは破られそうになってはいないでしょうか。

今年は戦後80年になります。改めて、平和憲法の意義を考えてみませんか。

沖縄に居住し、沖縄戦と基地問題を考えるジャーナリスト・三上智恵さんからお話をお聞きし、三上智恵さん監督のドキュメンタリー映画「戦雲」を鑑賞して、共に、考えたいと思います。



(C)2024『戦雲』製作委員会

主催 神奈川県弁護士会

お問合せ：電話 045-211-7705 (9時～12時、13時～17時)

共催 日本弁護士連合会、関東弁護士会連合会(予定)



神奈川県
弁護士会
Kanagawa Bar Association

本当の「国防」とは何か？ 圧殺されるのは沖縄の声だけではない

沖縄本島、与那国島、宮古島、石垣島、奄美大島
この美しい島々で、日米両政府の主導のもと急速な軍事要塞化が進行している。自衛隊ミサイル部隊の配備、弾薬庫の大増設、基地の地下化、そして全島民避難計画……。2022年には、「台湾有事」を想定した大規模な日米共同軍事演習「キーノート23」と安保三文書の内容から、九州から南西諸島を主戦場とし、現地の人々の犠牲を事実上覚悟した防衛計画が露わになった。しかし、その真の恐ろしさを読み解き、報じるメディアはほとんどない。全国の空港、港湾の軍事拠点化、兵站基地化が進められていることをとれば、どの日本人が知っているか。本当の「国防」とは何か。圧殺されるのは沖縄の声だけではない。

『標的の村』『沖縄スパイ戦史』 三上智恵監督

6年ぶり、渾身の最新作

本作は2015年から8年かけ沖縄・南西諸島をめぐり取材を続けてきた映画監督でジャーナリストの三上智恵による渾身の最新レポートである。タイトルは、山里節子さんが「また戦雲が湧き出してくるよ、恐ろしくて眠れない」と歌った石垣島の抒情詩と「うばらーまの歌詞に由る映画が映し出すのは、民意を置き去りにしたままな崩壊的に進む戦力配備の実態だけではない。過酷な歴史と豊かな自然に育まれた人々の暮らしや祭り」とそれらこそ、まやかしの「抑止力」の名のもとで今まさに蹂躪されようとしている「抑止力」の名のもとであり、私たちの希望と祈りの源にはかならない。

石垣島
若者主導の住民投票運動は市政に潰され、ミサイル基地が島の真ん中になった。

宮古島
集落の程近くにミサイル基地、射撃訓練場を備えた弾薬庫も完成した。

沖縄本島
島々に配備されたミサイル基地は本部がまもなく完成、民間の港が次々と軍事訓練に使われている。

今からでも遅くはない。共に目撃者になり、今という歴史を背負う当事者になってほしい。
——三上智恵——
映画監督 ジャーナリスト

最新刊情報
戦雲
要塞化する沖縄、島々の記録
三上智恵 著 集英社新書
1,320円(税込) 発売中

ikusatomu.jp x mikami_films f mikami_films

三上智恵さん プロフィール

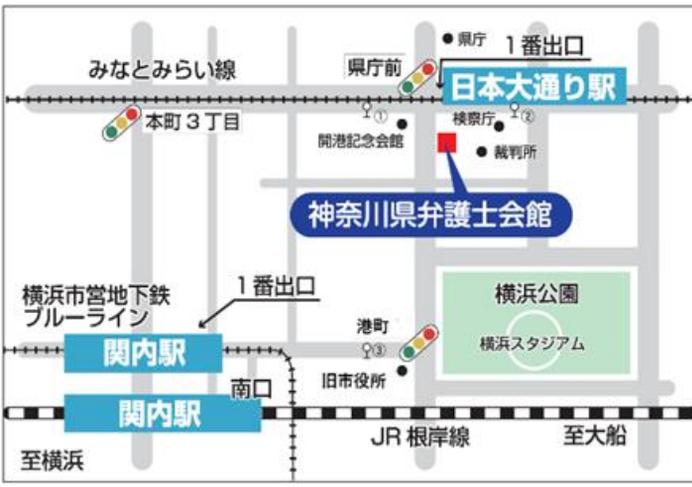
監督：三上智恵（みかみ・ちえ）
映画監督、ジャーナリスト。1987年、アナウンサー職で毎日放送に入社。95年、琉球朝日放送の開局時に沖縄に移住。同局のローカルワイドニュース番組のメインキャスターを務めながら、「海にすわる～辺野古600日の闘い～」「1945～島は戦場だった オキナワ365日～」「英霊か犬死か～沖縄から問う靖国裁判～」など、沖縄の文化、自然、社会をテーマに多くのドキュメンタリー番組を制作。2010年、日本女性放送者懇談会放送ウーマン賞を受賞。12年に制作した『標的の村～国に訴えられた沖縄・高江の住民たち～』は、ギャラクシー賞テレビ部門優秀賞、座・高円寺ドキュメンタリーフェスティバル大賞など多くの賞を受賞。13年に映画版『標的の村』で映画監督デビュー。14年にフリー転身。15年に『戦場ぬ止み』、17年に『標的の島 風かたか』、18年に『沖縄スパイ戦史』（大矢英代と共同監督）を発表。

著書に『戦場ぬ止み 辺野古・高江からの祈り』（大月書店）、「女子力で読み解く基地神話」（島洋子氏との共著/かもがわ出版）、「風かたか『標的の島』撮影記」（大月書店）など。「証言 沖縄スパイ戦史」（集英社新書）で石橋湛山記念 早稲田ジャーナリズム大賞 草の根民主主義部門大賞、城山三郎賞、JCI賞を受賞。24年1月17日に『戦雲 要塞化する沖縄、島々の記録』（集英社新書）を上梓。

- ◇フィルムグラフィ&賞歴
- 『標的の村』2013年 | 日本 | 91分
山形国際ドキュメンタリー映画祭2013アジア千波万波部門正式招待 市民賞&日本映画監督協会賞/日本映画撮影監督協会第22回JSC賞/第87回キネマ旬報ベスト・テン文化映画第1位ほか
 - 『戦場ぬ止み（いくさばぬとらうどみ）』2015年 | 日本 | 129分
山形国際ドキュメンタリー映画祭2015国際コンペティション正式招待/釜山国際映画祭2015ワイドアングル部門ドキュメンタリー・コンペティション正式招待/第89回キネマ旬報ベスト・テン文化映画第2位ほか
 - 『標的の島 風（かじ）かたか』2017年 | 日本 | 119分
山形国際ドキュメンタリー映画祭2017特別招待/第91回キネマ旬報ベスト・テン文化映画第2位ほか
 - 『沖縄スパイ戦史』2018 | 日本 | 114分 *大矢英代と共同監督
釜山国際映画祭2018ワイドアングル部門ドキュメンタリーショーケース正式招待/山形国際ドキュメンタリー映画祭2019日本プログラム部門正式招待/第92回キネマ旬報ベスト・テン文化映画第1位/日本映画ペンクラブ賞2018年文化映画部門ベスト1/第42回山路ふみ子映画賞文化賞/文化庁映画賞文化記録映画部門優秀賞ほか

会場のご案内

横浜市中区日本大通9番地 神奈川県弁護士会館
みなとみらい線日本大通り駅
1番出口より徒歩約1分
横浜市営地下鉄関内駅 1番出口より徒歩約10分
JR 関内駅 南口より徒歩約10分



神奈川県弁護士会